

yamabuki 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No.63
平成 19 年 10 月 15 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

デスクトップとマイドキュメント (一般のパソコンの話)

学校のパソコンでは、デスクトップは起動時に「元の状態」にリセットされます。また、マイドキュメントは、パソコンの外の「外部サーバ」にありますから、特殊な状態と言えます。

デスクトップとは、文字通り、「机の上」です。パソコンを起動したときに、最初に見える画面のことです。目の前の机の上と一緒に、パソコンのデスクトップもすっきり整理しておきたいですね。

ときどき、パソコンのデスクトップいっぱい、ファイルやフォルダがひしめいているのを見かけます。インストールやダウンロードなどでもものが置かれて、放っておくと知らず知らずのうちにデスクトップは埋め尽くされていきます。

マイドキュメントというのは、パソコンがあらかじめ「物入れ」として用意している「はこ」(フォルダ)で、その「入り口」がデスクトップに置かれています。

デスクトップもマイドキュメントも、物が置きやすい場所ですが、どちらもパソコンの中の、WindowsなどのOS()が入っている、大きさの決まった場所(通常、ハードディスクの**Cドライブ**)にある特殊なフォルダで、パソコンが調子悪くなって初期状態に戻すと、同時にはじめの状態に戻ります。あとから入れたファイルやフォルダは、なくなります。この場所はパソコンの作業場でもあり、各種設定や新しく入れた(アプリケーション)ソフトも置かれますから、パソコンに新しい機能を追加する度に、ここの空気がどんどん少なくなってきます。

こうなると、パソコンが動くときの作業場所が少なくなるので、パソコンの動作が遅くなったり、使えていたソフトが使えなくなったりします。

OS(Operating System): パソコンの動作を管理する**基本ソフト**のこと。

だから、デスクトップやマイドキュメントは、通常「物置」にするには不適當です。

デスクトップに置くのは、**ショートカットアイコン**といって、アプリケーションやフォルダ、ファイルなどへの「道しるべ」だけにするのが無難です。また、データの保管場所はマイドキュメントではなく、ハードディスクなら**Dドライブ**など、OSのドライブではない場所に置きましょう。

デスクトップにはフォルダを置くことができるので、いっぱいになってきたら、適当に分類してフォルダにしまうのも、片付ける一つの方法です。